

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）

化学品の危険有害性に関して世界共通の分類と表示を行い、正確な情報伝達を実現し、人の健康を確保し、環境を保護することを目的として作成され、平成15年7月に国連において勧告されたシステムである。APEC加盟国では2006年までの導入が目標とされている。

【GHSにおける表示：ラベル表示とSDS】

ラベル表示について

GHSに基づいて化学品の有害性を分類し、世界共通のそれぞれの有害性の程度を表すシンボルや取扱いに係る注意書きを記載したラベルを化学品に貼付する。

GHSに基づく有害性のシンボルの例



急性毒性

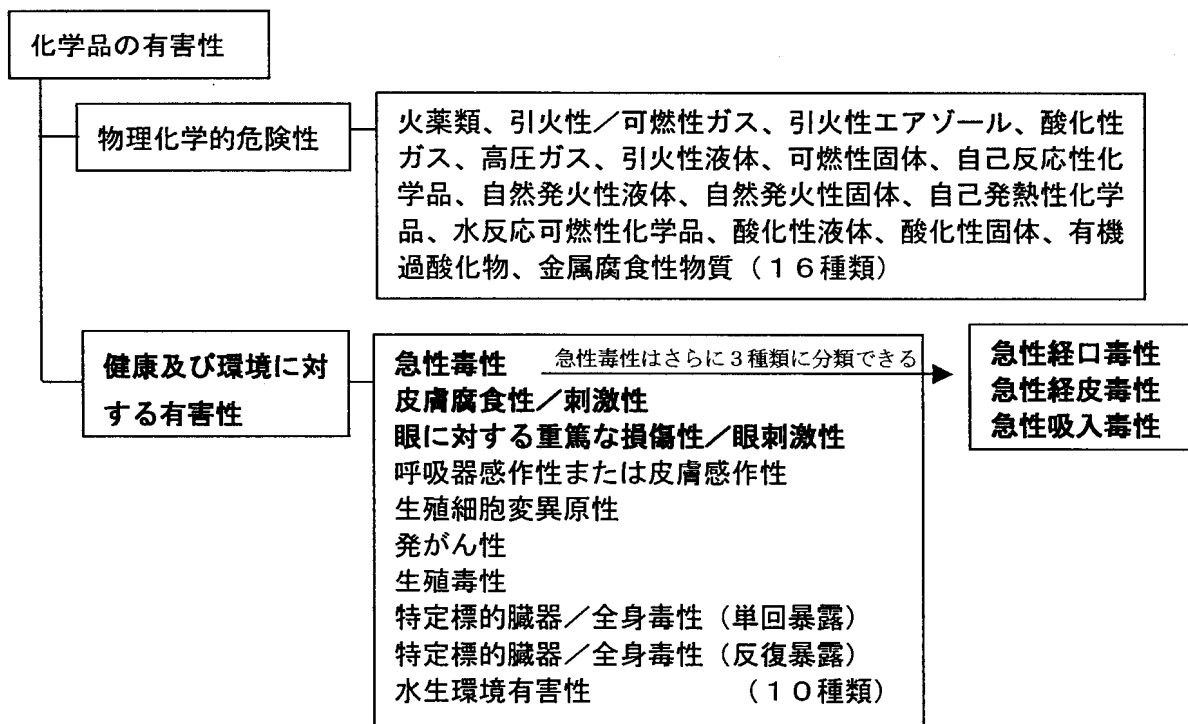


腐食性

SDSについて

GHSに基づく世界共通の様式に従ったSDS（安全性データシート）を作成し、使用者に交付する。

【GHSにおける危険有害性の分類】



※ 有害性の分類については、今後国連内の専門家委員会の議論により追加されることがある。